

令和6年7月5日
国土交通省関東地方整備局
高崎河川国道事務所

工事発注手続きについて

～「R6 烏川右岸根小屋地先薬師沢樋管新設工事」の発注手続きを行います～

高崎河川国道事務所が発注する「R6 烏川右岸根小屋地先薬師沢樋管新設工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R6 烏川右岸根小屋地先薬師沢樋管新設工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 見積活用方式
5. 材料単価の公表
6. 余裕期間制度（フレックス）の活用

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ・テレビ記者会 高崎記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 高崎河川国道事務所

電話：027-345-6000（代表） FAX：027-345-6085

副所長（河川） 松村 卓海（まつむら たくみ）（内線206）

工務第一課長 永留 修（ながどめ おさむ）（内線311）

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R 6 烏川右岸根小屋地先薬師沢樋管新設工事
- (2) 工事場所：群馬県高崎市根小屋町地先
- (3) 工 期：契約締結の翌日から令和8年2月27日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式 企業実績評価型）
- (5) 工事種別：一般土木工事 C等級
- (6) 工事内容（概要）：

樋管新設	1 式
盛土工	約 2, 3 0 0 m ³
法覆護岸工	約 3 3 0 m ²
ゲート設備	1 式

■工事概要図



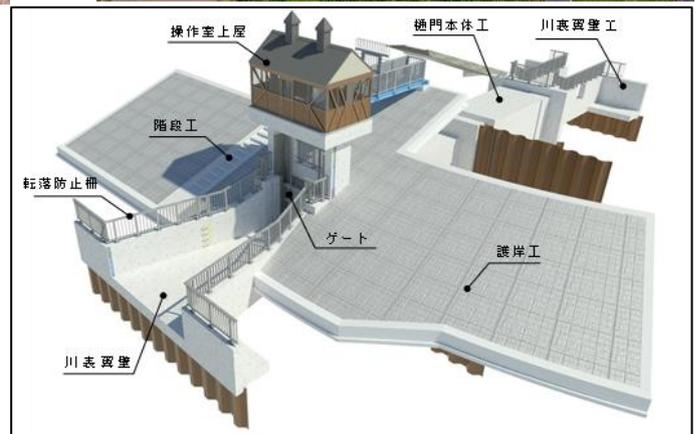
○施工箇所の状況について

現地は烏川、柳沢川、薬師沢が合流しており、河川の高水敷に民有地がある。また近傍には、高崎商科大学や住宅地がある。

○工事の施工について

- ・鋼矢板施工時には騒音・振動対策について特に配慮が必要である。
- ・資機材搬入のための工事用進入路について民有地を借地する必要がある。

※操作室上屋は別途施工予定。



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。特徴は次のとおりです。

なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「河川における樋門・樋管本体工を施工した工事」又は「ボックスカルバート（場所打ち又はプレキャストコンクリートいずれか）を施工した工事」として緩和します。

3. 難工事指定

本工事は、住宅地が近接する現場で鋼矢板を打設する必要があります。また、資機材の進入路は民有地地権者との調整が必要不可欠であることから、厳しい安全管理と施工管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間の評価対象となります。

4. 見積活用方式

○見積の提出を求める工種

直接工事費（ゲート設備）のうち、「小形水門据付工」

○見積の提出を求める理由

本工事の施工箇所は烏川と薬師沢と柳沢川の合流地点であり、高水敷は堤外民有地として利用されていることから、作業ヤードが狭隘となり作業効率が低下することが想定されます。このため、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

5. 材料単価の公表

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け、特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」として、可とう鋼矢板、可とう継ぎ手、ゲート開閉機等の材料単価について公表を行います。

6. 余裕期間制度（フレックス）の活用について

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和8年2月27日までの間で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

無堤部での樋管新設工事であるため、出水期間中も施工が可能です。また、仮締切の設置は不要です。

《スケジュール》

- 入札公示、入札説明書、見積依頼書の交付 : 令和 6年 7月 5日 (金)
- 技術資料等の提出期限 : 令和 6年 7月 22日 (月)
- 入札書・工事費内訳書の提出期限 : 令和 6年 9月 6日 (金)
- 開札日 : 令和 6年 9月 11日 (水)